

観世音菩薩挾間西国三十三霊場現況調査(その二)

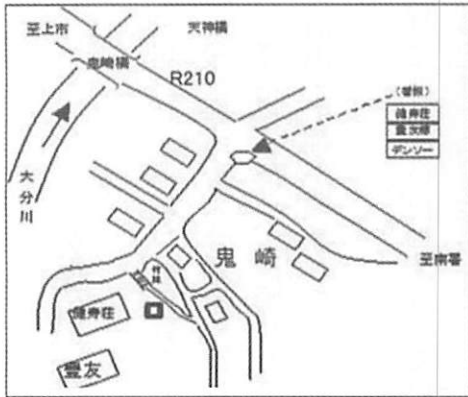
坂本勝信

挾間ふるさと研究会が昭和五十八年頃選定したと推定される「南無大悲観世音菩薩挾間西国三十三霊場」について現地を訪れ、現在の状況についての調査の第二回目を実施しました。今回は、旧肥後領であった大分川右岸の谷地区を回りましたが、どうしても第九番霊場一か所の特定ができなかった(後述)。

六番霊場鬼崎慈眼庵観世音

(一) 所在地 挾間町大字鬼崎

池辺吉人さん所有地内



\* □印が霊場を示す  
(以下同じ)

国道二一〇号線の半感応式信号交差点から健寿荘方向に一〇〇メートルほど進むと左手の竹林の先に階段がある。池辺家の墓地への入り口である。その奥の旧公民館跡にお堂があり、池辺家が管理しているが、いつでもだれでもお参りができる。

(二) 管理の主体・祭り

池辺さんのお話によると南大分の臨濟寺から年に一度納経にお坊さんが見えるとのこと。またお大師巡りに、挾間の人々も年に二回みえているとのことでした。堂内に、般若心経・大師和讃・観音和讃慈眼庵講と表紙書きされた池辺さんの亡くなったお母さん自筆の経本が添えられていました。

十番霊場田ノ小野定円寺

(一) 所在地 挾間町鬼瀬一五〇三 (田ノ小野下)

日光菩薩



観世音菩薩



同尻から田の小野の台上に上り、東方向に進むとユーバスの「田小野下」の停留所がある。さらに東へ行くと左手台上に山門とその奥に伽藍が見えてくる。ここが定円寺である。山門をくぐると樹齢五〇年以上と思われる桜の木が数本あり、花の季節に是非訪れたいと感じました。

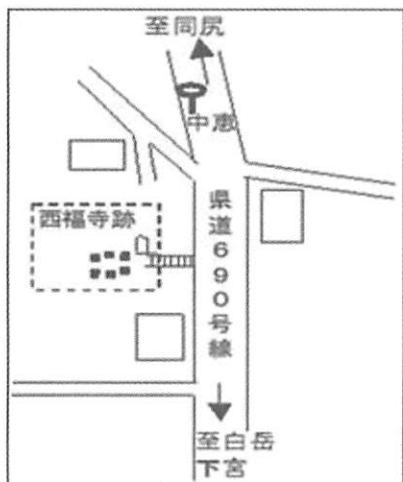
住職松林宗源氏にお会いして、お話と本堂内のご案内をいただきました。

定円寺のご本尊は釈迦如来、ほかに観世音菩薩と薬師如来。旧史料にある写真は右がお大師様、左は日光菩薩の写真であるとのこと、今回本堂内の撮影を許されました。またお大師様のお接待は三月八月欠かすことなくお寺で営んでいるとのことでした。

### 十一番霊場中恵西福寺

(一) 所在地

挾間町谷字中恵

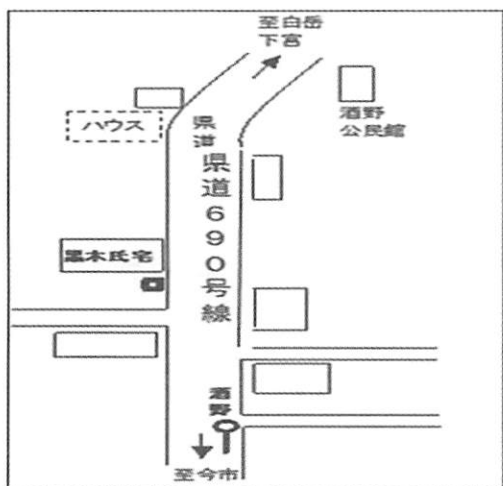


ユーバス中恵停留所から白岳方向に少し行くと右手高台に草茂る空き地がある。焼失した西福寺跡である。石段・石塔のほかお堂もなく集められた小石仏が数か所に散在している。巡礼者が礼拝をするのにもしよがない有様であった。十一番霊場として他の場所を選定する必要性を感じました。

### 十二番霊場酒野不動院

(一) 所在地

挾間町谷 字酒野一二八二(黒木久男氏宅敷地内)



農免道路野津原庄内線を白岳下宮入口で横切り、今市方向へ進むと最初の集落が酒野である。道路右手、黒木氏宅の敷地内に「大日堂」と立派な額を掲げたお堂がある。

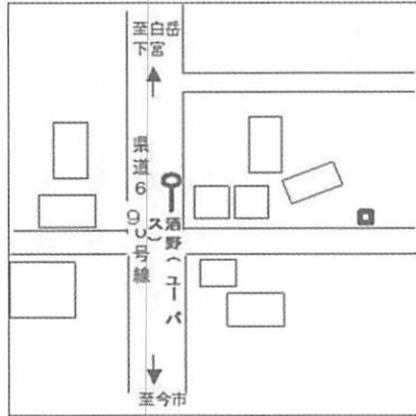
(二) 管理の主体とお祭り

黒木さんの敷地内にはあるが、下酒野の共有のお堂であり、共に維持管理を続けている。

八月二十四日に地区でお接待をしています。立派な額のいわれも今でははっきりしないと、黒木清美さんのお話でした。

### 十三番霊場酒野酒泉寺

(一) 所在地 挾間町谷 字酒野



十二番霊場の大日堂から今市方向へわずかに上るとユーバスの酒野停留所があり、その先の路地を左に入るとお堂があり、四体の石仏が祭られています。

(二) 管理の主体とお祭り

上酒野地区全戸で管理していますと近くにお住いの佐藤アイ子さんの案内をいただきました。こぎれいに清められた堂内に季節の花

が添えられていました。八月十日は観音講で全戸の人が集まってお経をあげるそうです。三月八月にお接待をしています。

### 十四番霊場片野公民館観世音

(一) 所在地 挾間町谷字片野



県道龍原挾間線提子公園手前の片野入口から西に入ってしばらく行くと、ユーバス片野停留所があり、その先に十数個の集落がある、片野である。各家ともすがめ石の立派な石垣に囲まれ、中には懐かしい厩(当然今では牛馬を飼育していないが)を備えたつくりの家屋もある。バス停から約百メートル先右手にセメント舗装された登り口があり、それを登りきるとお堂がある。

(二) 管理の主体とお祭り

地区輪番制の班長さんが鍵の保管、行事の際のお供えの担当などにあたっている、と案内していただいた班長の奥様阿南ミヨ子さんが話してくれました。

三月と九月の二回、お堂内にお供えした後、片野の皆さんはバス停横の集会場に集まってお経をあげています。かつてはお大師巡りで他の地区から訪れる人々もあったが、現在は地元のみでのお祭りです。

堂内に、平成元年の日付で

如意庵 一八〇八年

平安末期八〇八年前

この地に祭るころり観音

信じて参拝する人のみぞ

時節来ればころり観音

との書付あり

### 十五番霊場小野遍照山

(一) 所在地 挾間町大字小野字馬場



県道龍原挾間線を進み、農免道路を中村トンネルの北側で横切りさらに進むと右手に目野酒店さんがありその先の左手の片野入口・提子公園入口を過ぎると県道は大きく左に曲がる変則三差路に出る。その三叉路を右に（大將軍神社への道標あり）、左手にすり鉢状に小野公民館を含む馬場の集落を見下ろしながら、細いが乗用車も通れる道を行く。約四〜五百メートル行くと道路左手に森がある。地元の方が遍上山と呼ぶ丘で、山頂にお堂がある。

(二) 管理の主体

小野自治区が里つくりコミュニティ活動の一環として掃除、道の整備、花植え等を実施

(三) 祭りと行事

三月二十日のお通夜は馬場地区のみんなまで遍上山に集まりお経をあげています。お堂の周りに各自敷物を持参して。お接待はこのお堂ではなく、それぞれの自宅に祭ってあるお大師様で、三月と八月やっています。子供らのほか、結構な人数のお参りがあります。

(四) 由来

詳細は不明、二〜三年前までは装束を整えた巡礼のグループが回ってきていましたが、最近は見かけません。遍照寺は聞いたことがありません、私たちは遍上山と呼んでいます。亡くなった姑さんが挾間町ふるさと研究会のメンバーだったという目野秋子さんにお話を伺うことができました。写真左は目野酒店庭先のお大師様です。

十六番霊場阿鉢慶林寺

(一) 所在地

挾間町阿鉢(阿鉢公民館東側)



国道二一〇号でいち木トンネル先の信号を左折し、大将軍橋を渡り川上方向に進み、最初の三叉路を左折すると阿鉢公民館、その東隣にお堂があり、扉は施錠されている。

(二) 管理の主体

板谷組(要図参照)の三戸が管理、鍵は全戸で保管

(三) 祭りと行事

観音講は一月一七日と八月七日、定円寺(十番霊場)住職を迎えて実施される。十七夜は八月十七日、お接待は三月二十一日と八月二十一日で、最近では車での参拝者が多くなった。

案内していただいた大久保栄一さんのお話では霊場の「慶林寺」については判らないとのことでした。ただ板屋組の一戸の屋号が「寺後」というのに何か関係があるかも、とのことでした。

十七番霊場篠原慈航寺

(一) 所在地

挾間町篠原 字春の段



国道二一〇号の鬼ヶ瀬駅東の篠原橋を渡り、ユーバス神屋敷停留所をさらに川上方向に進むと左手に大きな山門がある。山門をくぐり左右の墓石群をぬけると奥に小屋?があり、緑色のふるさと研究会の看板が貼ってある。サッシ窓から中をのぞくと空き部屋で右手奥の扉が施錠されている。この扉の中に挾間町史に記述されている十一面観音像が安置されていてそれが十七番霊場たる所以か、はたまた写真の不動明王を含んだ石仏群が霊場の所以か確認できなかつた(寺の住職は国東在住とのことで平素は無住)。

春の段の住人に聞くと、地域とお堂との関わりはなく、お接待は各家で出しているとのことでした。

## 九番霊場同尻定円寺

### (一) 所在地

不明。田ノ小野の定円寺住職も心当たりはないとのこと、同尻地区の自治委員の方にも聞いても「地区内にそのようなもの、ことはない」とのことでした。

### (二) ここかとも思われるお堂

田ノ小野の西端に位置する同尻の山王神社の元宮の傍にお堂がありお堂周りに数個の石仏も安置されている。お堂には西国霊場を記す看板類は全くない。近くの小野さんが草刈や花のお供えなどを実施しているそうです。



### ◎終わりに

全く土地感のない地域内の調査でしたが、同級生の小野恵美子さん（元陣屋市場理事）の案内でスムーズに実施できました。小野さんへ感謝申し上げます。

また昨年お亡くなりになった谷地区唯一の史談会会員の佐藤龍江さんが、生前地域内での霊場巡りでは中心的な役割を果たされていたことをあちこちできいて、この調査がもっと早くになされるべきだったと臆を囁む思いでした。

四月十四日から始まった熊本地震の影響も出ています。十六日午前一時四十分の大地震で六弱以降数次の余震の際の被害が十五番霊場では沢山の石仏が倒れたそうですが十八日に再度訪れたときは修復されていました。驚いたのは大將軍神社第二鳥居の崩壊でした。左の写真のとおりです（十八日撮影）。

